

壬申の乱、大海人皇子、投降した羽田矢国を將軍として越の国へ侵攻させる。

七〇〇年(文武四年)

大宝律令を選定

七〇九年(和銅二年)

陸奥・越後両国の蝦夷を打つ為、越前等七カ国の民を徴発する。越前等四方国に船百艘を蝦夷に送らせる。

七一〇年(和銅三年)

都を平城に移す。

七一二(和銅五年)

大安万侶、古事記三巻を著す。

七一三年(和銅六年)

諸国の郡郷名に好字を用いさせ、また郡内も産物・山川・原野の名称の由来、古老の旧聞、異事などを調べさせる。

七一七年(養老一年)

泰澄、白山を開くと伝える。

七一九年(養老三年)

東海・東山・北陸・三道の民二百戸を出羽の柵に配置。

七二〇年(養老四年)

舎人親王、日本書紀・三十巻を著す。

七二八年(神龜五年)

国家平安を祈るため金光經十巻を頒布し転読させる。

七三七年(天平九年)

北陸道等六道の諸国司に対して、疫病の治療法及び飲食物について